

夢を語るは表現を語る

表現を語る時 生きている事も 人と言う表現ではないか

裏返せばそれは夢だと思う。「ある時間軸を通過した時に」長く生きて来て

身に着けて来た物

私的には江戸里神楽寿獅子舞であり写真の CG 作品群なのだ。

此の二つは元気に舞い心和む作品群なのだ。

これからも宝船展で発表を続けていくのが夢

夢のシート くもつかむ 「うら通りを小さな舞台と設定、15 分間を 5 分位に凝縮して、宝船展で一人芝居を演じて見たい」

私は時間が有れば店の前に朝立って学生に「お早う御座います」の挨拶をしている。

店は北向きで東西に走る道路は巾 6 m 足らず。西に向かい二つ目の交差点を左折 1 分 2 分で駅だ。

此の辺りは対面通行でウイークデーには毎朝駅に向かう通勤の歩行者や自転車が通り通学路にもなって居る。

二つ目の交差点を直進するとすぐ小学校や中学校だ。

小学生が班毎で通り 7 時 45 分頃ピークを向かえ、その時は「お早う御座います」のおまつり騒ぎが起きるのだ。

私の勝手な挨拶に、戸惑う子や挨拶を吐き捨てる子や無視する子も多く、通勤の人が巻き込まれて挨拶を返してきたり、

時には中型トラックや送迎の車が又西から東に向かう通勤者・何故か其処だけを小走りで通る通勤者、

其の光景をスマホで記録し、プロジェクターで映して投射された映像の中に自分が立ち、一人一人に顔を向けて「お早う御座います」を連呼する。

こんな一人芝居はどうだろう。

採用された場合のもう少し細かいストーリーも考えている。

題名 : Elementary school Story of school road

名前 : 中村 元